

試験科目、合格要件

高等学校卒業程度認定試験に合格するには、各教科の必修の科目に合格する必要があります。

	教 科	試験科目	科目数	要 件
※ 4	国 語	国 語	1	必修
	地理歴史	地 理	1	必修
		歴 史	1	必修
※ 4	公 民	公 共	1	必修
	数 学	数 学	1	必修
※ 5	理 科	科学と人間生活	2 又は 3	以下の①、②のいずれかが必修
		物 理 基 礎		①「科学と人間生活」の1科目と「物理基礎」、「化学基礎」、 「生物基礎」、「地学基礎」のうち1科目（合計2科目）
		化 学 基 礎		
		生 物 基 礎		②「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」 のうち3科目（合計3科目）
		地 学 基 礎		
	外 国 語	英 語	1	必修

- ※ 1 既に合格している科目、免除されている科目を受験することはできません。
- ※ 2 合格要件（合格に必要な科目数）を超えて受験することはできません。（高等学校の単位認定のために高等学校卒業程度認定試験を受験する場合も含む）
- ※ 3 全ての科目の免除を受けて、全科目合格者となることはできません。最低1科目以上、受験して合格する必要があります。
- ※ 4 「地理歴史」、「公民」は、今回の試験より試験科目、合格要件が変わっています。詳しくは次ページの【試験科目の選択方法について】をよく確認してください。
- ※ 5 「理科」は、教科の中で受験する科目を選択する必要があります。詳しくは次ページの【試験科目の選択方法について】をよく確認してください。

【合格に必要な全ての科目について免除要件を満たしている方へ】

合格に必要な全ての科目について免除要件を満たしている場合、全ての科目の免除を受けて、全科目合格者となることはできません。最低でも1科目（合格要件を満たすために必要となる科目）は免除申請をせず受験をしてください。例えば、【国語】を免除申請せずに受験し、残りの必要な科目については免除申請をすると【国語】を合格した時点で合格要件が整い、全科目合格者になります。

また、合格要件を超えての受験、免除申請はできませんので御注意ください。例えば、【科学と人間生活】を免除申請し、【物理基礎】【化学基礎】【生物基礎】を受験するということはできません。合格要件を超えてしまいます。

【高等学校での単位認定のために高等学校卒業程度認定試験を受験する方へ】

試験科目の合格をもって高等学校の単位として認定されるかどうかは、各学校長の判断によります。したがって、高等学校での単位認定のために受験を希望する場合は、あらかじめ在籍する高等学校に確認の上、出願してください。

ただし、高等学校卒業程度認定試験の合格要件（合格に必要な科目数）を超えて受験することはできません。

【大学入学資格検定（大検）の科目合格者の方へ】

平成16年度までの大学入学資格検定（大検）の科目合格者のうち、既に合格している科目、免除されている科目をもって、高等学校卒業程度認定試験の合格要件を満たしている方は受験できません。上記の表及び免除要件を確認の上、合格要件を満たしている場合は「合格の申請」をすることで、高等学校卒業程度認定試験合格者となることができます。

【試験科目の選択方法について】

出願にあたって選択が必要な科目については自身の状況を確認し、以下の選択方法に従って受験する科目、免除申請する科目を決定してください。

① 初めて受験する方（過去に受験したことがあるが、合格科目が一つも無い方も含む）

『試験科目、合格要件』に従い、受験する科目、免除申請する科目を決定してください。合格要件を超えての受験及び免除申請はできません。

② 過去に合格科目がある方（科目合格通知書をお持ちの方）

『試験科目、合格要件』に従い、受験する科目、免除申請する科目を決定してください。合格要件を超えての受験及び免除申請はできません。なお、以下の教科については「受験（免除申請）科目の選択方法」に従い科目を選択してください。

要 件	試験科目	受験（免除申請）科目の選択方法（※）
必修	「地理」	過去に「地理A又はB」の1科目が合格（免除）となっている場合 ⇒「地理」を受験することはできません（合格要件を満たしています）。
必修	「歴史」	過去に「世界史A又はB」「日本史A又はB」のうち1科目以上が合格（免除）となっている場合 ⇒「歴史」を受験することはできません（合格要件を満たしています）。 ※「日本史A又はB」の合格（免除）をもって「地理」の合格（免除）にはなりません。
必修	「公共」	① 過去に「倫理」「政治・経済」のいずれか1科目が合格（免除）となっている場合 ⇒「公共」を受験できます。 ② 過去に「現代社会」が合格（免除）となっている場合又は「倫理」と「政治・経済」の2科目が合格（免除）となっている場合 ⇒「公共」を受験することはできません（合格要件を満たしています）。
2科目 又は 3科目 選択	「科学と人間生活」 「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」	① 過去に「物理基礎/物理Ⅰ」、「化学基礎/化学Ⅰ」、「生物基礎/生物Ⅰ」、「地学基礎/地学Ⅰ」のうち、1科目が合格（免除）となっている場合 ⇒以下の(1)、(2)のいずれかとなります。 (1) 「科学と人間生活」の1科目を受験できます。 (2) 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」のうち、 <u>合格していない科目から2科目</u> を受験できます。 ② 過去に「科学と人間生活/理科総合」1科目が合格（免除）となっている場合 ⇒「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」のうち、1科目を受験できます。 ③ 過去に「物理基礎/物理Ⅰ」、「化学基礎/化学Ⅰ」、「生物基礎/生物Ⅰ」、「地学基礎/地学Ⅰ」のうち、2科目が合格（免除）となっている場合 ⇒以下の(1)、(2)のいずれかとなります。 (1) 「科学と人間生活」の1科目を受験できます。 (2) 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」のうち、 <u>合格していない科目から1科目</u> を受験できます。 ④ 過去に「科学と人間生活/理科総合」1科目と、「物理基礎/物理Ⅰ」、「化学基礎/化学Ⅰ」、「生物基礎/生物Ⅰ」、「地学基礎/地学Ⅰ」のうち1科目の合計2科目が合格（免除）となっている場合 ⇒いずれも受験することはできません（合格要件を満たしています）。

試験科目の出題範囲

高等学校卒業程度認定試験の出題範囲は、現在の高等学校のカリキュラムを編成する基準（学習指導要領（平成30年3月改訂））に基づいています。出題範囲（対応する教科書）を以下の表で確認してください。

※ 学習指導要領については文部科学省のホームページで確認できます。

<URL> https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm

試験科目	出題範囲（対応する教科書）
国語	「現代の国語」「言語文化」※古文・漢文を含む (令和4年4月以降の高等学校入学者が使用している教科書)
地理	「地理総合」 (令和4年4月以降の高等学校入学者が使用している教科書)
歴史	「歴史総合」 (令和4年4月以降の高等学校入学者が使用している教科書)
公共	「公共」 (令和4年4月以降の高等学校入学者が使用している教科書)
数学	「数学Ⅰ」 (令和4年4月以降の高等学校入学者が使用している教科書)
科学と人間生活	「科学と人間生活」 (令和4年4月以降の高等学校入学者が使用している教科書)
物理基礎	「物理基礎」 (令和4年4月以降の高等学校入学者が使用している教科書)
化学基礎	「化学基礎」 (令和4年4月以降の高等学校入学者が使用している教科書)
生物基礎	「生物基礎」 (令和4年4月以降の高等学校入学者が使用している教科書)
地学基礎	「地学基礎」 (令和4年4月以降の高等学校入学者が使用している教科書)
英語	「英語コミュニケーションⅠ」 (令和4年4月以降の高等学校入学者が使用している教科書)

- 文部科学省では参考書、問題集等は作成していません。また、受験のための予備校、問題集等の紹介もできません。

※ 文部科学省ホームページに過去の試験問題及び解答を掲載しています。

<URL> https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shiken/1421021.htm

- 教科書は、教科書を学校に納入している書店や特約供給所で購入できます。
教科書を取り扱っている書店は「一般社団法人全国教科書供給協会」に確認してください。

【一般社団法人全国教科書供給協会】 <電話> 03-5606-9791

<URL> <http://www.text-kyoukyuu.or.jp/>